

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

# KOΣMOΣ

特集 新システム誕生!



三部佳賢さん画（文学部国文学科3年）

大学の楽しみの一つは、図書館の静寂に身を浸すことだ。暗ーいと言われそうだが、かまわない。暗さを経験しない明るさはたんなるノータンキである。(それでもまあいいが…)暗さを耐え抜いて光に達するのがガクモンである!もともと、いつもそういう高尚な衝動にかられて図書館におもむくわけではない。閲覧室はいつも変わらぬ魂の安息場所であり、半時間ほどしてフト目が開くと頭スッキリ驚くほど思考力が発揮できるのである。

図書館には無い本も多い。しかし、あきらめてはいけない。購入希望図書カードを出す手がある。私はビンボー学生だったから、本は自分で買うものではないと決めて、図書館という図書館をすべて利用しつくした。新刊本はもちろんレコー

## 図書館のなぜ

### 勉 楽 相

ドやCDなども繰り返し希望を出すところかで入れてくれた。するとまっ先に電話がかかってきて、まだ誰も読んでいない本や「視聴覚資料」を一週間独占することができるのだった。

ところで、図書館には無い本も多いが、読まれていない本もたくさんある。たとえば白山の閉架書庫を歩くと、そういう不思議な森に出会う。分厚くて重たくてまだ〈袋とじ〉になったままほこりをかぶっている膨大な量の紙束を目にすることがある。それがよく見るとルター全集だったりするのだ。いったいいつ読まれるのだろうか。読まれない本の存在意味とは何だろうなどと考えてしまう。世の中には〈読まれてはならない本〉というのも存在する。ドイツの図書館で閲覧が難しい本の一つにヒトラーの『わが闘争』がある。特別の申請書を出し特別の部屋でのみ閲覧できるが、コピーもメモも禁じられているとい

う。どうやら稀覯本だからという理由だけではなさそうである。そういう開かれないページという見えない闇が図書館にはある。そこで、フト思い出すのがエーコの『薔薇の名前』に出て来る修道院の図書館だ。修道院で次々起こる殺人事件の背後に次第次第にあの図書館の闇が浮かび上がって来る。一步踏み込むと、今度は闇の彼方に向かって幾何学的な迷宮が待ち受けている。それは読まれてはならないと言う理由で存在する一冊の本のためにあるのだった。

そう、図書館とは、開かれない本の闇が眠る迷宮なのだ。そこには人間が自らに禁じた言葉が眠っているのだ。なんでこんなややこしいことを人間はやってしまうのか?…と思った時が「知の冒険」の始まりである。おおいに遊んでほしい。

(文学部講師・さがらつとむ)



## 初めて図書館に

### 来られる方へ

和田 裕 子

## 新

入生の皆さん、ご入学おめでとう  
ございます。

期待に胸をふくらませた若々しい君も、  
すました顔の大人っぽい君も、皆さんには  
同様に、すばらしい可能性に満ちた何年間  
かが与えられました。大学生活とは、様々  
なライフスタイルを可能とし、また、努力、  
汗、涙、喜び、成功、失敗、悲しみなどず  
べての瞬間を秘めた不思議で謎めいたもの  
です。ばら色の大学生活か否かは、すべて  
皆さんの腕次第。

だから、その中でも最もやっかいな授業  
や課題をさらりと乗り切るために、図書館  
を利用しない手はありません。図書館に収  
められている文献は、すべて利用可能で  
すし、そうした文献は、テストやレポート作

成時の心強い味方になります。日頃から図  
書館に通って品揃えを確認しておく、い  
ざという時あわてずにすむでしょう。高い  
専門書は、書店に行く前にまず図書館で探  
す、これが賢い大学生です。もちろん利用  
のルールを守らないと、肝心な時に「貸し  
出し停止」という痛い目にあったりもする  
ことをお忘れなく。

図書館に限らず、学内外の利用できるも  
のをうまく活用することが、皆さんの生活  
に何らかの利益となることは確かです。そ  
して、質の高い、意味のある大学生活を皆  
さん自身の手で作りに上げてください。すべ  
ては、これからです。

(社会学部社会学科3年・わだゆうこ)

## 図書館サービス

### 利用のすすめ

H · H



書館とは、「使えば使うほど味が  
でる」という表現がピッタリとは

まるのではないかと思います。つまり、本  
人の利用の仕方次第でなくてはならない存  
在ともなり得るし、逆に必要性などまった  
く感じないものにもなるということです。

図書館には、利用者の情報収集をサポート  
するためにさまざまなサービスがありま  
す。CD-ROMによる本、新聞記事、論  
文の検索、リクエスト・サービス、他大学  
からの資料とりよせ等々、そのサービスは  
拡大の一途をたどっています。

図書館を「使う」ということは、そこに  
ある資料を利用することだけではなく、こ  
ういったサービスを受けることにより、満  
足度の高い情報を得ることです。そして、  
「使えば使うほど」さまざまなサービスを  
知り、資料の利用範囲も一大学図書館から  
世界の図書館までと拡大し、より納得のい  
く資料を得るコツを知ることでしょう。

まずは、図書館に足を運び、カウンター  
にアプローチしてみてください。第一歩の  
図書館サービス利用が始まります。

(社会学部応用社会学科2年)

## 貸出システム

かねてから準備されておりましたコンピュータによる貸出システムが、平成六年四月からいよいよ稼働開始されます。今まで以上に簡単に迅速に図書館の資料をご利用いただけると思います。新しいシステム導入に際しましては、多少の変更点があります。今回は概略を取り上げてみました。

**貸出カードの発行** は、新しく作る場合、学生証を提示してください。また、古いカードをお持ちの場合は、それも一緒に提示してください。

# システム

## 白山・朝霞・工学部図書館同時に稼働開始!!

**貸出** は図書と一緒に貸出カードを提示してください。貸出カードへの記入は不要となります。

但し、バーコードの貼られていない図書の貸出は、若干の手続きが必要です。

**館外貸出冊数及び期間** は左記の通りです。

学部1～3年生 短大1年生	5冊	{ 図書 2週間 雑誌 1週間
学部4年生 短大2年生	5冊	{ 図書 4週間 雑誌 1週間
大学院生	10冊	{ 図書 8週間 雑誌 1週間
卒業生(校友)	3冊	{ 図書 4週間 雑誌 1週間

**貸出の更新** は学部1～3年生・短大1年生について、図書のみ、1回2週間できます。

**予約** 希望する資料が貸出中の時、予約することが出来ます。予約有効期間は、返却日より1週間です。

**返却** は図書のみで結構です。貸出カードはいりません。

**返却が遅れた場合** は『遅れた日数×冊数』を貸出停止期間の日数とします。遅れないように充分ご注意ください。

※貸出・返却の手続きは、各々の所蔵館で行ってください。

以上簡単に説明しましたが、詳細については、各図書館の利用案内を参照したり、直接カウンターにお尋ねください。



## 検索システム

雑誌につき図書の検索も  
TRITON OPAC (コンピュ  
タによる検索システム) で可能にな  
りました。

平成五年度からトリトン・オーパックス  
テムは稼働し、雑誌検索が開始されていま  
すが、皆さんは愛用してくださっています  
か? 今年度からは、更にデータが充実され、  
図書の検索ができます。画面を見ながら引  
き出せる情報はきっと皆さんの学習・研究  
のお役に立つことでしょう。

**検索方法** として、初心者向けの「メニュー  
選択型」と、幅広い検食用途をもった「コ  
マンド型」の二つのタイプがあります。

「メニュー選択型」は、画面誘導がなされ  
操作は比較的簡単です。「コマンド型」は  
数個のコマンドを使用して検索から表示ま  
で行う方法です。

**検索** は、「著者名」・「書名」・「主題」の  
ほか、旧来のカード目録ではできなかった  
「出版社」や「原書名」からも検索が可能

です。特にオーパックスの検索で優れている  
のは「単語検索」ができることです。書名  
を完全な形で覚えていなくても、書名の  
一部の単語から検索すれば、その単語に  
関するデータが検索結果として画面に出  
ます。これは、利用者の皆さんにとって大  
変有効的な検索システムです。

同時に、白山、朝霞、工学部図書館の  
蔵状況を知ることができます。例えば朝霞  
分館で検索しても白山や工学部分館の所  
蔵の有無がわかります。

**プリントアウト** してみましょう。

検索の結果必要とする資料を見つけたら、  
その画面を端末機と一緒に設置してある  
プリンタで印刷することができます。プリ  
ントアウトしたデータをもとに、実際の資  
料にあたることをお勧めします。

〈注〉 まだ全蔵書について入力されてい  
るわけではありませんが、データは日々  
増えています。また端末操作については、  
「TRITON-OPAC検索マニュアル」  
をじっくり参考にし、操作をマスターし  
てください。きっと図書館に来るのが楽し  
みになるはずです。

TRITON-OPAC! TRITON-OPAC! TRITON-OPAC!

OPAC! TRITON-OPAC! TRITON-OPAC!

TRITON-OPAC! TRITON-OPAC! TRITON-OPAC!

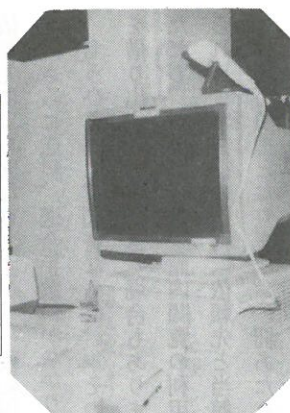
\*\*\*\*\*TRITON-OPAC\*\*\*\*\*

1. 書名(誌名)    2. 編・著者名(団体名)
3. キーワード    4. 1~3の組合せ

検索に使う項目の番号を入力して送信キーを押してください。 番号 [   ]  
その他の操作は下記から選択し、PFキーを押してください。

PF12検索法説明	PA2画面回復
	PF11検索終了

「メニュー選択型」画面



四月中は、システム移行の過渡期にあたるた  
め、手続きに時間がかかり皆様にご迷惑をおか  
けすることもありますがいささか承ください。

## 白山編

【本がない その1】

**Q** 探している本が見当たりません。先生は図書館に行けばあると言っていたのですが。

**A** 白山の図書館にはおよそ60万冊の本があります。全ての資料が利用者の目に届きやすいところにあるのが理想ですが、現実には無理です。実際には蔵書の一〇二割程度の資料しか見やすいところに置けません。これが図書館には本がないという誤解をまねく元となっています。正確に資料を探すためには、蔵書目録を利用してください。コンピュータの端末（オーバックOPAC）やカードの目録などの使い方に慣れると図書館がもっと身近なものになります。適宜ガイダンス等もありますので参加しましょう。

【本がない その2】

**Q** 国会図書館に行けば見たい本が必ずあると思うのですが、紹介状を発行してください。

**A** 国会図書館は20歳以上であれば誰でも利用でき、紹介状は必要ありません。

## 図書館へ行こう

## 参考係の質問箱から

ん。国会図書館は納本制度により、国内で刊行される出版物は全て収集することになっており、わが国最大の図書館です。しかし、利用しやすいかと言えば、必ずしもそうとは言えません。資料のほとんど全てが出納による利用となり、自由に選ぶことはできません。また、窓口で請求をしてから利用者の手元に資料が届くまで20〜30分位かかることも珍しくありません。コピーについてもセルフサービスではなく窓口で申し込んで出来上がるのを待つこととなります。その他大きな図書館ならではの制約がいろいろとあります。国会図書館を利用するのは最後の手段としましょう。必要な資料がどの図書館にあるのかを参考係でも調べますので、気楽にたずねてください。

【また本がない その3】

**Q** いろいろと本を探してみたけれど、自分のテーマに合ったものがありません。どうしたらよいでしょうか。

**A**

本だけではなく、学術雑誌に掲載された論文・記事についても探すことをおすすめします。図書館の利用に慣れていないと図書（本）にのみ目が向きがちですが、学術雑誌も見落とすことはできません。『雑誌記事索引』などを利用すると、必要とするテーマの記事・論文がどの雑誌に掲載されているのかを調べることができます。また、およそ一九八四年以降の論文・記事については、参考係がコンピュータで調べますのでご相談ください。

【本がない でもあきらめない その4】

**Q** 必要な資料が北海道の大学にしかないようです。直接行く時間もお金もありません。どうしたらよいでしょうか。

**A** およそふたつの方法があります。ひとつはコピーをとりよせる方法。

依頼先により異なりますが、一枚40円前後で、さらに送料、送金手数料がかかります。もうひとつは、図書ならば、本そのものを借り出すことができる場合があります。ただし、この場合は、館内閲覧の利用に限られ、また往復の送料（依頼先と当館の）は利用者負担となります。一冊あたりおよそ一、三〇〇円です。



# 工学部編

Q ……について調べたいのですが

A 「JIS規格」についてでしたら先ず『JIS総目録』でJIS番号を調べJIS原書を調べると良いでしょう。

性質について知りたいという事でしたらその事柄についての研究・論文等を調べるという事になりますので『雑誌記事索引』『文献速報』等で研究論文の所在を調べてください。見つからないようでしたら、NACSIS-IIR等で調べる事もできますのでカウンターまで申し出てください。

所在がはっきりしたらOPACで請求記号を調べ目的の図書、雑誌を探してください。もし、図書館に所蔵のない資料でしたら文献複写等でとりよせる事もできますのでカウンターまでお申し付けください。

Q NACSIS-IIRというのはどんなサービスですか。

A NACSIS-IIRとは、学外のデータベースと直結し、目録所在情報等が入手できるシステムです。係まで遠慮なく申し出てくだされば、代行検索致します。

Q 情報関係の図書を探しているのですが…

A 情報科学や情報工学は0門、4門、又は5門として分類されていますが、見当たらない場合は雑誌同様に端末(OPAC)で検索してください。

Q 1階の書庫にはどのような資料があるのでしょうか？

A 洋書を中心に、文学書、産業関係の資料があります。又、電動書架には和洋雑誌があります。2階書架にない場合は1階書庫も探すようにしてください。

Q 写真集・地図を見たいのですが…

A 写真集・地図は比較的大判のものが多くので西窓奥低書架或いは入口低書架を見てください。建築関係の資料としては建築資料室(一号館3階)にも多くの資料があります。(他学科の方も利用できます。)

Q 3〜4日程前の新聞を見たいのですが…

A 3日前までの新聞は一階ロビーの新聞コーナーにあります。4日以前3

ヶ月以内のものは一階書庫に保管してありますのでご利用ください。また、縮刷版(朝日新聞)もあります。

Q 雑誌のバックナンバーを探しているのですが…

A ◎和雑誌の場合：閲覧室内の雑誌架を探してください。それ以前のもは一階書庫を探してください。

◎洋雑誌の場合：教職員閲覧室にあります。カウンターで手続の上、利用してください。教職員閲覧室雑誌架にないものは一階書庫を探してください。

◎どちらの場合も書庫に見当たらない場合は端末(OPAC)で検索してください。本学図書館にない場合は他大学等の図書館からコピー等により取り寄せる事もできますのでカウンターにお申し出ください。



外国の図書館シリーズ  
— その8 —

エール・ロー・スクール

江藤 淳一

エール大学には、中央図書館や稀こう本を所蔵する図書館のほか、各スクール（大学院）に専門図書館がおかれている。

ロー・スクール（クリントン大統領夫妻の母校として話題になった）には、英米法圏の文献を集めた図書館と国際法や外国法の文献を集めた別館がある。日頃よく利用する、法令集、判例集、法律雑誌、基本文献は、すべてここで読むことができる。学生は、閲覧ホールに自分専用の机があつて、自由に使うことができ、また、外国からの研究者や留学生には、小さい個室（三畳ほど）が割当てられている。図書館のなかでじっくりと落ち着いて勉強できるようにとの配慮である（ちなみに、学生数は五〇〇人ほど）。

図書の検索は、一九八〇年以後の図書については、パソコン端末を利用する。大学

全体用とロー・スクール用の検索機があり、ロー・スクール用では、コロンビアやNYUなど、他のロー・スクールの蔵書も検索できる。また、この検索機は、法律雑誌論文データ・ベースともつながっており、とても便利である。なお、八〇年以前の図書は、カードでの検索になる（廻って入力するという話は聞かなかった）。

さらには、図書館にはデータ・ベース専用のパソコンが何台も置かれている。アメリカには、ウェスト・ローとレクサスという法律関係データ・ベースがあるが、両社とも、将来のお得意さまである学生に対して無料でユーザー番号を配布しており、学生は自由にこれらのデータ・ベースを利用できる。このデータ・ベースを使えば、法令、判例、議会資料、新聞・雑誌記事など、最新の情報をカバーできる。

こうした恵まれた環境に加え、ライブラリアンのレベルも非常に高い。彼らのなかには、教授と組んで、「国際法文献の調べ方」という正規の講座を担当している人もいる。質問に対してもとても親切に答えてくれるので、学生も気軽に文献収集のアド

バイスを求めている。まさに至れり尽くせりである。

（法学部講師・えとうじゅんいち）

図書館アラカルト

新入生を迎えた図書館では、四月～五月にかけて、3館それぞれ新入生に対してのガイダンスや図書館ツアーなどを計画しております。特に今年は新システムになったこと、貸出条件が変わったことなど、いつもの年と違いますので、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

KO Σ MO Σ (No.105)

1994年3月31日発行

発行人：松本恒之

発行所：東洋大学図書館

〒112 文京区白山5-28-20

TEL 03-3945-7314

© 東洋大学図書館 1994